

# 市役所 本庁舎における公用車の状況について

H29.8 財政課

本年度、財政課では「行財政改革」の取り組みとして、本庁公用車の有効活用を目的に、管理方法の見直しを検討しております。つきましては、現状分析のため、各所属に対し、アンケート・ヒアリング等を実施させていただきますので、ご協力をお願いします。

## 公用車とは・・・・・・・・

市では、公務を迅速かつ効率的に遂行するため公用車を保有しています。公用車は市の財産であり、また燃料費、保険料やリース料等の維持管理費を要することから有効に活用することが求められています。

## 公用車の台数・・・・・・・・

	平成29年度（H29.4.1現在）
軽自動車	53（リース：42、寄附・購入：11）
普通車	31（リース：18、寄附・購入：13）
トラック・大型等	3（リース：3、寄附・購入：0）
合計	87台

※うち、共有システムで予約可能な公用車：2台

公務を迅速かつ効率的に遂行するために保有する公用車ですが、保有する目的を達成する以外に、各課が仕様書を作成し契約をしているため、過剰な排気量の設定や装備となっている可能性があります。

## 公用車の維持管理経費・・・・・・・・

公用車を維持管理していくためには、燃料費・車検整備費及び市有物件保険料等の経費が必要になってきます。

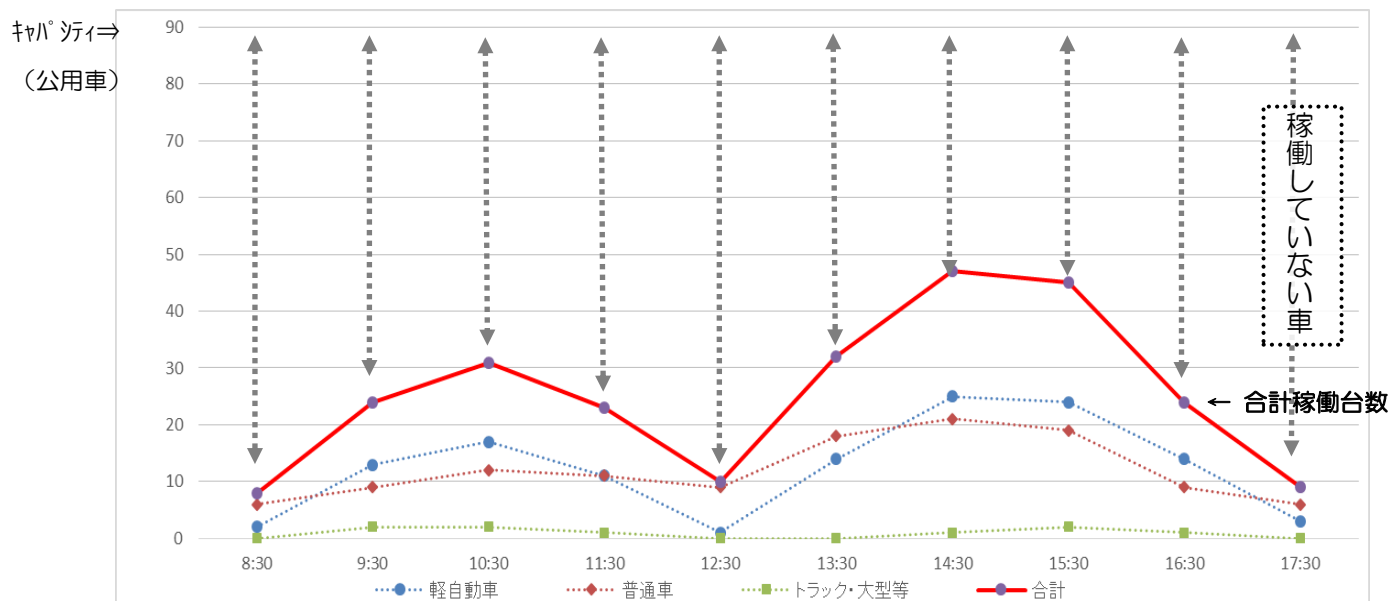
	軽自動車	普通車	トラック等	合計
リース代	10,095,000	5,905,000	571,000	16,571,000
燃料費	4,363,000	2,552,000	247,000	7,162,000 ※台数で按分
保険料	775,000	633,000	66,000	1,474,000
合計	15,233,000	9,090,000	884,000	25,207,000
1台あたり平均単価				289,736

公用車を1台保有するためには、約29万円／年の経費が掛かっています。

## 1日の稼働率（公用車全体）

4/19 定点観測	8:30	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	14:30	15:30	16:30	17:30	total
軽自動車	2	13	17	11	1	14	25	24	14	3	53
普通車	6	9	12	11	9	18	21	19	9	6	31
トラック・大型等	0	2	2	1	0	0	1	2	1	0	3
合計	8	24	31	23	10	32	47	45	24	9	87

H29. 4. 19（水）の稼働状況 [ 平均稼働率：29.1%、最大：54.0%、最少：9.2% ]



総保有台数と比較して、稼働していない公用車が多く見受けられます。

### 課題の整理 . . . . .

- 公用車の台数に比例して、維持管理経費が掛かる。各課単位では適正な保有台数となっているものの、全体的にみると稼働率が低く、有効活用されていない可能性がある。
- 各課で予算計上し、目的と必要性に応じて自由に仕様を定めているため、必要以上に装備が充実し、結果的にリース料や維持経費（燃料費等）が高くなっている可能性がある。
- 車両を保有している課にとっては利用しやすいものの、その一方で、車両を保有していない課にとっては、使いづらい仕組みとなっているおそれがある。

### 課題解決に向けて . . . . .

- ヒアリング等の調査による現状分析
- 管理方法の見直し、検討

こうした課題を踏まえ、「公用車の適正配置」や「利便性の向上」「コスト削減」を達成するため、民間手法も参考にし、経営的視点で公用車の見直しを行う。

公用車の運用方法の見直しにとらわれず、計画的な業務の遂行をはじめ仕事の質の向上（働き方改革）も念頭に置き、検討していく必要もある。